

# 用語解説

- 議会費**..... 議会を運営するために使われるお金
- 総務費**..... 一般的な管理事務、企画調整事務などに使われるお金
- 民生費**..... 高齢者、障害者、児童などの福祉全般や生活保護事務に使われるお金
- 衛生費**..... 健康管理や生活環境整備などに使われるお金
- 農林水産業費**..... 農道、漁港の整備や営農の活性化などに使われるお金
- 商工費**..... 商工業および観光の振興に使われるお金
- 土木費**..... 道路、港湾、住宅管理などの事業に使われるお金
- 消防費**..... 消防施設の整備や消防団の運営などに使われるお金
- 教育費**..... 学校運営や生涯学習、スポーツの振興など、教育全般の事業事務に使われるお金
- 災害復旧費**..... 台風や集中豪雨などで被災した道路、農地、農業用施設などの復旧に使われるお金
- 公債費**..... 事業を行うために借り入れたお金を返済するために支払うお金
- 人件費**..... 市職員給与、市議会議員・各種委員報酬
- 扶助費**..... 法令に基づく被扶助者に支給される経費、児童手当、医療扶助
- 普通建設事業費**..... 道路の整備、公共施設などの整備に要したお金など
- 物件費**..... 消耗品、臨時職員賃金、業務委託料など
- 諸支出金**..... 各種基金への積立金として使うお金
- 繰出金**..... 一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される費用

表4 一般会計当初予算 (歳出性質別)

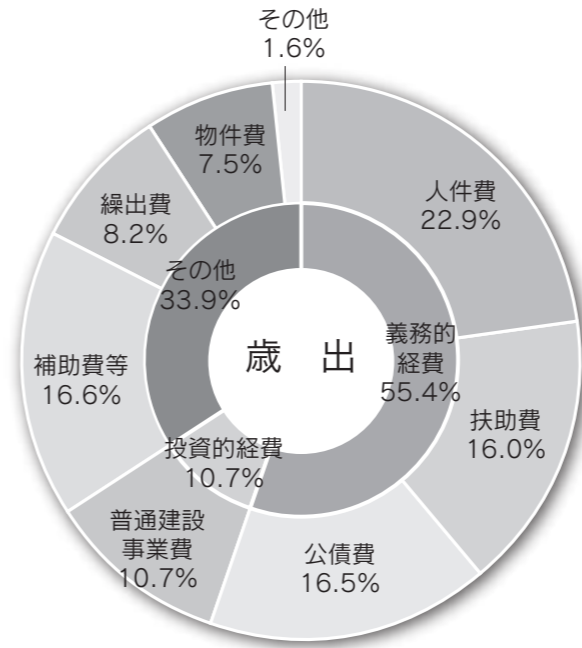
科目	H20	H19	増減	増減率
<b>義務的経費</b>	<b>8,060,065</b>	<b>8,398,909</b>	<b>△338,844</b>	<b>△4.0%</b>
人件費	3,332,316	3,620,443	△288,127	△8.0%
扶助費	2,326,169	2,315,898	10,271	0.4%
公債費	2,401,580	2,462,568	△60,988	△2.5%
<b>投資的経費</b>	<b>1,550,484</b>	<b>1,530,045</b>	<b>20,439</b>	<b>1.3%</b>
普通建設事業費	1,549,143	1,528,319	20,824	1.4%
内補助	1,046,624	818,123	228,501	27.9%
内単独	502,519	710,196	△207,677	△29.2%
災害復旧事業費	1,341	1,726	△385	△22.3%
<b>その他の経費</b>	<b>4,910,275</b>	<b>5,005,330</b>	<b>△95,055</b>	<b>△1.9%</b>
物件費	1,085,920	1,213,875	△127,955	△10.5%
維持補修費	47,257	49,323	△2,066	△4.2%
補助費等	2,414,994	2,104,156	310,838	14.8%
積立金	37,459	5,063	32,396	639.9%
投資及び出資金	91,101	85,453	5,648	6.6%
貸付金	44,320	44,320	0	0.0%
繰出金	1,189,224	1,503,140	△313,916	△20.9%
予備費	20,176	31,716	△11,540	△36.4%
<b>合計</b>	<b>14,541,000</b>	<b>14,966,000</b>	<b>△425,000</b>	<b>△2.8%</b>

表5 平成20年度当初予算とリバイバルプラン (歳出)

項目	H20当初	H20RP※1	比較
<b>義務的経費</b>	<b>8,060</b>	<b>8,177</b>	<b>△117</b>
人件費	3,332	3,482	△150
扶助費	2,326	2,290	36
公債費	2,402	2,405	△3
<b>その他の経費</b>	<b>4,910</b>	<b>5,034</b>	<b>△124</b>
物件費	1,086	1,162	△76
維持補修費	47	49	△2
補助費等	2,415	2,044	371
積立金	38	155	△117
繰出金	1,189	1,494	△305
投資出資貸付金	135	130	5
<b>投資的経費</b>	<b>1,551</b>	<b>1,391</b>	<b>160</b>
普通建設事業	1,549	1,391	158
災害復旧事業	2		2
予備費	20	34	△14
<b>合計</b>	<b>14,541</b>	<b>14,636</b>	<b>△95</b>

※1 RPとは、リバイバルプランの略称

■今後の対応について  
平成20年度においては、地方財政対策として地方再生対策費を導入することで地方交付税等の増額があり、財源を手厚くされた経緯はあります。しかし、国の財政再建の下、地方へのしわ寄せは不可避であります。ゆえに歳入歳出とも、プラン以上に改革が進んでいるとはいえ、今後においても手綱を緩めることなく、市民皆さまのご理解をいただきながら、プランを前倒しする気概をもって財政運営に取り組んでいきます。



歳出において、性質別に前年度と比較しますと、人件費などの義務的経費で3億3,884万4千円の減、建設事業関係経費でもある投資的経費で2,043万9千円の増、他会計への繰出金等で構成されるその他の経費で9,505万5千円の減となっておりです。

- ▲上償還の効果  
扶助費 国の三位一体の改革の影響で特定財源が減少し地方の支出が増加
- ② 投資的経費 公債費負担適正化の観点から地方債借入を抑制し、効果を早期に引き出すため事業集中化
- ③ その他の経費  
▼物件費 市役所内の事務管理経費の削減  
▼補助費等 後期高齢者制度実施に伴う増  
▼積立金 繰上償還の財源として基金への積立  
▼繰出金 老人保健医療制度から後期高齢者制度移行に伴う減

歳出予算の圧縮に伴い構成比率は、ほぼ同様となっておりますが、個別に見ていくと義務的経費を削減することで、財政の弾力性を伸ばしつつあり、また、内部事務管理経費の削減を徹底的に行うことで、その他の経費が削減されています。さらに生活基盤や経済基盤の整備を行うなど、市経済の衰退を招かないよう前年度並みの投資的経費は確保しており、リバイバルプランに沿った財政改革が着実に実施された結果となっております。

ただし、今後の国の政策が不透明であり、しかも財政再建を推進されている中において、地方へのしわ寄せは大きくなります。そのため本市の行財政改革を緩和するわけには行かず、10年・20年先を見据えた予算編成が必要となっております。20年度当初予算において義務的経費の削減はあったものの、80億円台を推移しており、繰上償還を着実に実行し、公債費の適正化を図りながら、さらなる削減を実施します。また、内部事務管理経費においても施設の管理運営を見直したり、事務費関係の削減を推進しさらなる努力を重ねていきます。さら

表3 一般会計当初予算 (歳出目的別)

款	H20	H19	増減	増減率
議会費	190,339	193,212	△2,873	△1.5%
総務費	1,970,494	2,281,053	△310,559	△13.6%
民生費	4,370,444	4,325,360	45,084	1.0%
衛生費	1,497,248	1,582,984	△85,736	△5.4%
農林水産業費	1,265,155	1,115,120	150,035	13.5%
商工費	229,313	244,889	△15,576	△6.4%
土木費	935,718	983,668	△47,950	△4.9%
消防費	616,557	609,437	7,120	1.2%
教育費	1,004,950	1,128,843	△123,893	△11.0%
災害復旧費	1,341	1,726	△385	△22.3%
公債費	2,401,580	2,462,568	△60,988	△2.5%
諸支出金	37,685	5,424	32,261	594.8%
予備費	20,176	31,716	△11,540	△36.4%
<b>合計</b>	<b>14,541,000</b>	<b>14,966,000</b>	<b>△425,000</b>	<b>△2.8%</b>

に、投資的経費においては、予算圧縮に伴い削減せざるを得ない状況ではありますが、予算全体のバランスを考慮し、生活基盤、経済基盤、教育基盤を整備します。【表4参照】

歳出においては、それぞれ義務的経費においては、見込みより1億1,700万円、投資的経費においては、見込みより9,500万円の増減であり、見込みより義務的経費が確保でき、プランと比較しても若干ながら前倒しの財政再建が進んでいます。【表5参照】

円減、その他の経費においては1億2,400万円の増減、投資的経費においては、1億6,000万円の増となっています。歳出総額についても9,500万円の減であり、見込みより義務的経費、その他の経費を削減することによって、投資的経費が確保でき、プランと比較しても若干ながら前倒しの財政再建が進んでいます。【表5参照】